

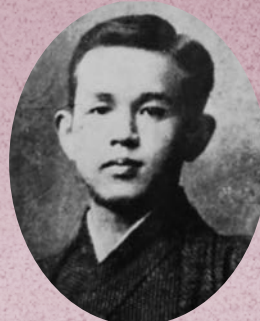
「明治44年3月以降の書簡より」と題し石川啄木の東京での生活をご覧ください。啄木は土岐哀果と文学雑誌『樹木と果実』の刊行を計画しますが実現に至りませんでした。実生活では腹膜炎で病床の身であった上、妻節子も病氣と診断され一家は困窮を極めます。その頃の啄木の心境を綴った函館の宮崎大四郎宛の書簡3通と日記等を展示します。



喜之床の二階



望郷の上野駅



わが妻のむかしの願ひ



歌集 悲しき玩具

【切り絵】岩城之徳、後藤伸行(日本切り絵百景館 館長) 共著
切り絵『石川啄木の世界』(昭和60年 ギョウセイ)より

会 期 令和7年

令和8年

10月11日(土) ▶ 4月7日(火)

休館日 令和7年 11月10日～14日、12月15日、12月31日
令和8年 1月1日～1月3日、1月14日、2月12日、3月11日

お問合せ 函館市文学館 TEL:0138-22-9014

展示資料

1. 明治44年3月10日 宮崎 大四郎 宛書簡
2. 明治44年3月18日 宮崎 大四郎 宛書簡
3. 明治44年8月 8日 宮崎 大四郎 宛書簡
4. 明治四十四年 當用日記
5. 樹木と果実 発行予告はがき
6. 樹木と果実 出納簿
7. 樹木と果実 発送原簿

「明治44年3月以降の書簡より」

令和7年度
函館市文学館石川啄木直筆資料展



函館市文学館

函館市末広町22-5
TEL (0138) 22-9014

入館料 一般:300円
学 生(小学生～大学生):150円
※20名様以上の団体は2割引

